

2023年3月6日

循環器内科に過去に通院・入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 「左室補助人工心臓装着患者における心室性不整脈発生の危険因子と予後転帰」

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 渥美 達也

[研究責任者名・所属] 天満 太郎 北海道大学病院循環器内科・助教

[研究代表機関名・研究代表者名・所属]

北海道大学病院循環器内科 天満 太郎・助教

[研究の目的]

この研究の目的は、左室補助人工心臓装着（LVAD）患者における心室性不整脈の発生に関わる危険因子と予後（死亡や入院など）や生活の質、抑うつ状態について調べることです。LVADを装着された患者さんのうち多数の方で、移植待機期間内に心室性不整脈が見られますが、このような不整脈が患者さんの予後や生活の質、抑うつ状態に与える影響については分かっていないことが多いため、この研究でその点について明らかにしたいと考えています。

[研究の方法]

対象となる患者さん

2010年1月～2024年12月の間に当院通院中で、左室補助人工心臓（LVAD）の装着、および、植え込み型除細動器（ICD）治療を受けている方

利用するカルテ情報

患者背景、病歴、採血・心臓超音波・睡眠時無呼吸等・胸部レントゲン・心電図検査結果、ICD作動等の発生状況、QOL、抑うつ状態の指標、合併症、予後 等

[研究実施期間]

実施許可日～2025年12月まで（登録締切日：2024年12月31日）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定

できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院循環器内科 担当医師 天満 太郎

電話 011-706-5675 (外来) 011-706-5821 (病棟) FAX 011-706 - 7874